

本日：

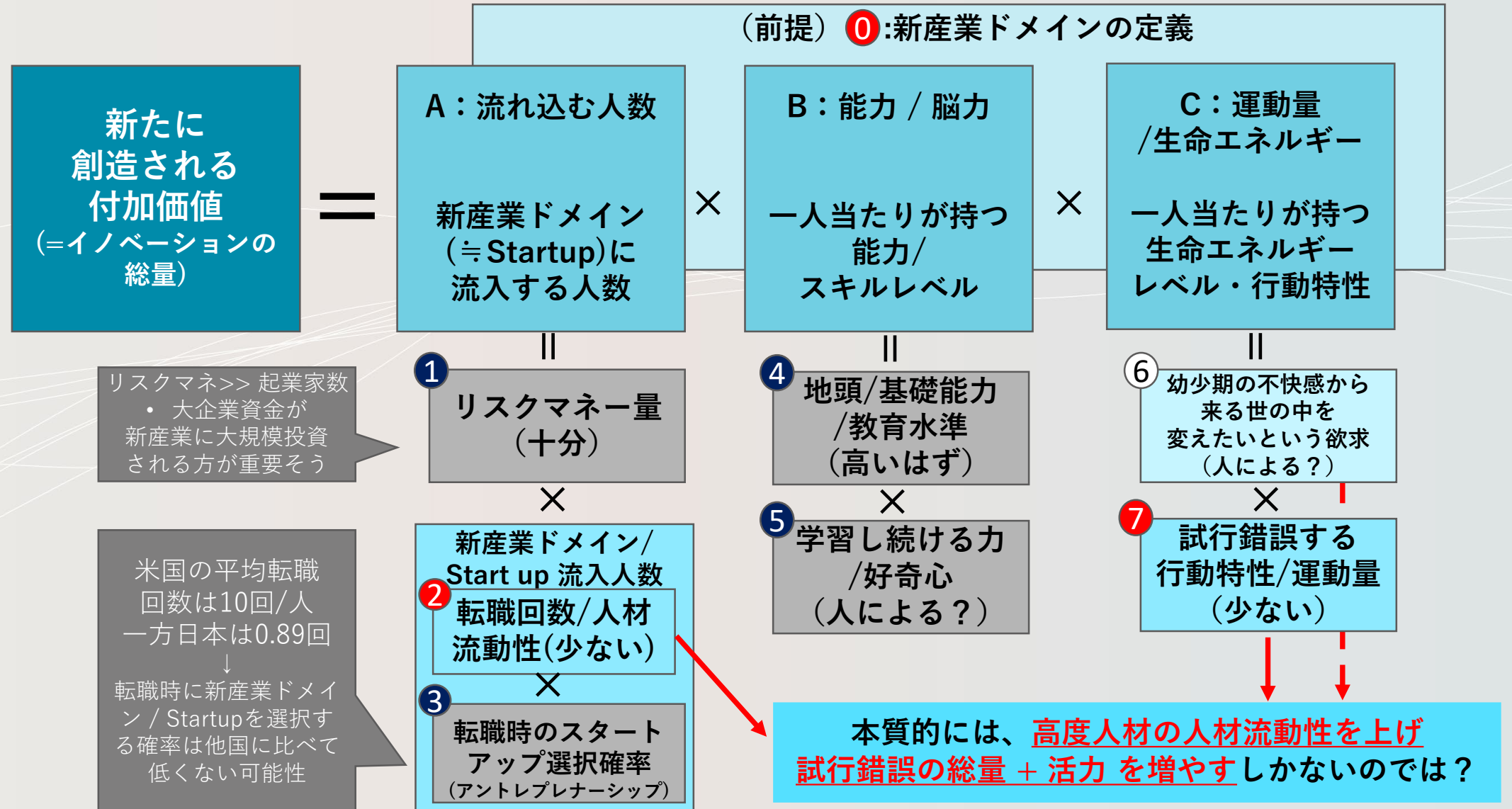
埋もれている高度人材を流動化し
“遺伝子にスイッチ”を入れ、新産業分野へ再配置すべき



本日申し上げたいこと（≡前回の補足）

- 日本のイノベーション増幅には「新産業ドメインへ多くの活力ある人材が流れ試行錯誤が進む」ことが必要
- その為には「眠っている（潜在的）高度人材」を眠りから起こし“遺伝子にスイッチ”を入れる必要
 - ー 人間は適度なカオスに置かれると、生存本能から神経系を活性化し脳と身体エネルギーが激増する
 - ・ “環境次第”で、人材一人当たりの活力 / 創造性 / 生産性は、軽く、数十倍~数百倍になる
 - ー 例えば、シリコンバレー移民の意義は多様性ではなく、貧困/内戦/紛争 等に 幼少期に直面した 生命的危機の記憶から、“遺伝子にスイッチが入った” 異才 - Top数% を集めている、ということ
- 戦後、ソニーやホンダが生まれた時の時代背景的カオスを、いかに今 “適度に”設計できるかと言う問題
- (他国に比べ相対的に豊かすぎる)日本で遺伝子にスイッチを入れる数少ない方法は「人材流動性の向上」
 - ー 不確実な環境で、自分のキャリアをデザイン(=“自分経営”)すること = 「事業創造能力」 そのもの
 - ー 人材の再配置/育成/ “適度なカオス”のデザイン に資する政策（資金は人材を動かすための「手段」）
 - ・ 新産業ドメインの定義、高度人材の人材流動性向上、大企業によるVBのM&A の加速 etc

(再掲) 日本のイノベーション増幅に必要なのは、**0** 新産業ドメインへ多くの人材が配置されることであり
 現状、不足しているのは「**1**:リスクマネー」や「**3**:アントレプレナーシップ」
 ではなく「**2**:人材流動性の低さ」と「**7**:試行錯誤運動量の不足」である可能性



(ご参考) 日本のスタートアップを取り巻く現状 - 政府資料より



日本のスタートアップを取り巻く現状 = 第4回「産業構造審議会経済産業政策新機軸部会」(2022年2月16日) 提出資料より

中心に据えるべきは、「資金」ではなく「人材」

「資金」は「人材」を適切な新産業へ動かすための、手段/アプローチ

